

# ハンセン病患者の方の講演会と 「風の舞」上映会で 人権・偏見・差別について考えてみました

10月2日(土)

アイリスホールで開催

ご来場者 787人

## 「風の舞」上映会&講演会のお礼

刈谷市婦人会連絡協議会 会長 笠松信子

皆様には、日頃より婦人会の地域活動に、ご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

「21世紀は人権の世紀」と聞いたことがあります。婦人会連絡協議会では人権について、女性・子ども・高齢者などすべての人が勉強する機会をもちたいと考えておりました。講演会当日は、皆様のお陰をもちまして、787名ものご参加を賜り、その上アンケートにもご協力をいただきまして、重ねてお礼申し上げます。

皆様のご協力が婦人会の支えでございます。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

ハンセン病について、徐々に理解が広まっているものの、やはりまだまだ偏見と誤解があるという現実の中で生きてこられた方のことを考えると、人間にとって人権を守ることの大切さを改めて感じました。

参加された方の感想です

命の大切さを今日程真剣に考えたことはなかったと思います。自分一人の思いではなく、家族に、友だちに伝えたいと思い、感動して家路につけることでしょう。

今まで私の中にも強い偏見がありました。きょうの映画と講演会を聴いて新しく、正しい知識を得ることができました。

ハンセン病という病気は知っていましたが「囚人同様の生活をさせられ、親子の縁も切られ、私の想像以上の過酷な生活を強いられたことを知り、涙があふれてきました。今後は安らかな暮らしをされますようお祈りします。



ハンセン病の歴史のパネル展に熱心にメモを取られる方も。